

豊栄病院 ニュース

令和7年1月号

病院長の関です。皆様、明けましておめでとうございます。お正月といえば、小学1年生で町の剣道場に入門した(父に入門させられた)私は、元旦はいつも真っ暗なうちに家を出て早朝稽古に行きました。身体が縮み上がるほど寒く、泣きたくなるようなきつい稽古でしたが、やり終えた仲間と皆で囲んだお汁粉は全て帳消しにして、楽しい思い出に変えてくれました。世の中は人口減、高齢少子化、人材不足など地域の問題は山積ですが、豊栄病院は地域社会の一員として、地域に寄り添い、皆さんに頼っていただける場所として、この現状をともに歩んでいきたいと考えています。一緒に頑張った先の“お汁粉”は必ずあります。それを楽しみに……。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



写真は、新潟県厚生連の広報誌“支えに”の2024年11月号の表紙です。右; 関 病院長 先日、病院の懇親会の中で、余興の一つとして、**難読名字**のクイズを出題しました。「そもそも、名字は、江戸時代は武士以外、公には名乗ることができなかつたのですが、1870年(明治3年)9月19日に明治政府により『自今平民苗氏被差許候事』という布告(平民苗字許容令)が出され、平民も自由に姓を名乗ることができるようになりました。各自が自由に名字を名乗り・届け、中にはと

んちの様な難読名字も生まれました。例えば、**小鳥遊**と書いて、“**たかなし**(鷹がない=**たかなし**)と**小鳥が遊べる**“などの名字があります。なお、今回2025年5月に予定される戸籍法改正の施行後には、1年間ですべての日本人の戸籍にフリガナが付くようになります。本籍地の市町村長から戸籍のフリガナに関する通知が送付され、変更が必要な場合は、届け出を行えば認められる仕組みとなっています。」というぬうんちくをしゃべりながら、5題出題しました。今回、そのうちの3題を皆様にお示します。①**阿・亜**、②**九**、③**く……**どれも実在する名字です……このような方と私は遭遇したことはありませんが……。皆様読めますか？



昨年**の病院の正月飾り**です。今年**は？**

昨年は、能登半島地震で始まり、新潟県厚生連は経営危機の話がでて、個人的には、残念ながらあまり良い年ではなかつたように思われます。関 病院長の年頭のあいさつのように、豊栄病院は、この地域の一員として、重要な社会インフラとして、病院運営を行い、良い一年間にしたいと思っています。皆様方におかれましても、良い一年になりますよう願っております。

ちなみに、上の難読名字は、①**いのうえ**、②**いちじく**、③**きのした**、が正解です。

発行責任者・文責; 豊栄病院広報係 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784